

市立尼崎高校体育科カリキュラム改革の方向性等について

市立尼崎高校体育科の生徒が学ぶことを通じて、スポーツへの関心を更に高め、スポーツを楽しみ、愛し、そしてスポーツの分野で活躍し、社会を支え、さらに、スポーツという文化を次世代に引き継ぐことができるような人材を育成することを期し、体育科のカリキュラムを以下のとおり見直すとともに、地域に開かれた学校づくりを目指す。

1 カリキュラム改革等の方向性

これまでの体育科のカリキュラムが、競技スポーツに過度に偏っていたことの反省を踏まえ、体育科を卒業した生徒が、将来、競技者だけでなく、スポーツの指導者や、スポーツトレーナー、栄養指導の専門家、審判員、データアナリスト、スポーツ産業や地域スポーツの担い手など、スポーツに関係するあらゆる分野で活躍することを期し、以下に示すような、スポーツに関する幅広い基礎的理解を修得するような内容を学ぶカリキュラムとする。

併せて、学科の名称についても、カリキュラムの内容を体現するような名称とすることを検討する。

(1) スポーツを文化的・社会的視点で学ぶ

スポーツの社会的・文化的意義、スポーツとキャリア、スポーツと教育、スポーツと産業、スポーツと地域社会等について学ぶ領域

(2) スポーツを科学的視点で学ぶ

スポーツと身体、スポーツと心、スポーツと健康等について学ぶ領域

(3) 様々なスポーツの特性を学ぶ

各種スポーツ（障がい者スポーツを含む）の特性（技術論、戦術論を含む）について学ぶ領域

(4) スポーツの理論と実践を融合する

スポーツに関する課題について自ら課題意識を持ち、調べ、まとめていく学習（課題解決的な学習）をする領域

2 地域に開かれた学校づくり

市立尼崎高校を地域スポーツの拠点として、地域と共にあることを念頭に置き、体育科生徒が中心となり地域との交流を積極的に行う。

(1) 体育科施設を地域に開放し、高齢者が健康で活力に満ちた長寿社会を目指し、体力づくりや健康寿命延伸に寄与し、未就学児のスポーツ機会の確保と体力向上を支援する。

- (2) ボランティア活動を積極的に行い、他者を思いやる行動を通じて社会性や公共性を育てる。
- (3) 教育関係者・市民・保護者等を対象にトップアスリートやスポーツ関連企業の経営者などによる公開講座を開催し、教育・スポーツ・健康などについての情報の発信拠点となる。

3 今後の予定

現在設置中の「市立尼崎高校体育科カリキュラム検討委員会」で具体的カリキュラムを検討し、9月開催予定のオープンスクールにおいて公表、令和3年度より新カリキュラムをスタートする。